

【取り付け説明書1】 アンテナ取り付け説明 PMA110FZ

10V型マルチメディアオーディオ

このたびはPIXYDA商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- 取り付けおよび結線を行う前に、この取り付け説明書をよくお読みのうえ、安全に正しく作業してください。
- 本説明書は、取扱説明書とともに大切に保管してください。

■お客様へのお願い
本機の取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店での取り付けをおすすめします。

■販売店様へのお願い
取り付け完了後、この「取り付け説明書」をお客様にお渡しく下さい。

お客様サポートセンター ☎0570(039)710 受付時間/AM10:00～PM5:30 (土曜・日曜・祝日除く) 〒399-4603 長野県上伊那郡三日町655	ご購入年月日 年 月 日
受付時間/AM10:00～PM5:30 (土曜・日曜・祝日除く) 〒399-4603 長野県上伊那郡三日町655	ご購入店名 TEL
株式会社 セイワ 〒134-0092 東京都江戸川区一之江町3000番地 http://www.seiwa-c.co.jp	メモ

安全上のご注意 必ずお守りください

本取り付け説明書では、運転者や周囲の人々への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、以下のように区分けて説明しています。必ず本文をよくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分けし説明しています。

警告	「死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示します。
注意	「傷害や物的損害のみの発生が想定される内容」を示します。

■ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で示しています。

注意	「注意を促す内容」を示します。
禁止	「してはいけない内容」を示します。
実行	「しなければならない内容」を示します。

■取り付けの前に

警告

- 本アンテナは、フロントウィンドウ以外の場所には貼り付けない
本アンテナは、フロントウィンドウ専用です。リアウィンドウなど、ガラスにプリントされている熱線、AM、FMアンテナの上に本アンテナを貼り付けると熱線が切れたりガラスが割れたりするおそれがあります。
- 分解や改造をしない
分解、改造、コードの被服を切って接続することは絶対におやめください。事故、火災、感電、故障の原因となります。
- エアバック装着車に取り付ける場合は、システムの作動に影響する位置には絶対に取り付けや配線をしない
エアバックが正常に動作しなかったり、動作したエアバックで本機や部品が飛ばされ死亡事故の原因となります。

■取り付けのときの注意事項

警告

- 車両メーカーが指定する禁止エリアへの取り付けや配線をしない。
車両メーカー・ディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。
- 運転の妨げになる場所や前方の視界を妨げる場所、エアバッグの動作の妨げになる場所に設置や配線をしない。
運転に支障が生じ、交通事故を招くおそれがあります。またエアバッグが正常に作動しなかったり、動作したエアバッグがお客様が利用される機器などを破損したりしてケガをするおそれがあります。
- 同乗者に危険をおよぼす場所には、絶対に取り付けない。
同乗者に危険をおよぼす場所への取り付けは、交通事故やけがの原因になります。
- 取り付けの際は車両の保安部分のボルトやナットを絶対に使用しない。
ステアリングやブレーキなど、保安部分のボルトやナットを使用して本製品やコード等を取り付けると事故の原因となります。

注意

- コード類は、運転操作の妨げとならないように引き回し、まとめておく。
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。
- 取り付け説明書にしたがって、取り付けや配線をする。
火災や事故の原因となることがあります。
- フィルムアンテナは、貼付許容範囲内に貼り付ける。
保安基準に適合するように、規定にしたがって貼り付けてください。視界不良による交通事故の原因となります。

注意

- 本取り付け後24時間以内は絶対に水気(水、雨、霧、雪など)にあてたり、無理な力を加えない。
両面テープの接着力が低下し、外れて事故や怪我の原因となることがあります。

注意

- コード類は、車体やねじ部分、シートレールなどの可動部にはさみこまないように引き回す。
断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。
- 必ず、付属品や指定の部品を使用する。
指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして、事故や故障などの原因となることがあります。
- 取り付け(取り外し)や配線は、専門技術者に依頼する。
火災や事故の原因となります。お買い求めの販売店に依頼してください。
- アンテナおよびケーブル類は確実に固定する。
外れて事故や怪我の原因となることがあります。
- 気温が低い時は、接着力の低下を防ぐため、車内ヒーターやデフロスタースイッチをONにするなどしてフロントウィンドウを暖める。
両面テープの接着力が低下し、外れて事故や怪我の原因となることがあります。
- 貼り付ける前に、クリーナー等でフロントウィンドウの汚れを十分に落とす。
汚れていると、アンテナがガラス面に貼り付かなくなります。

注意

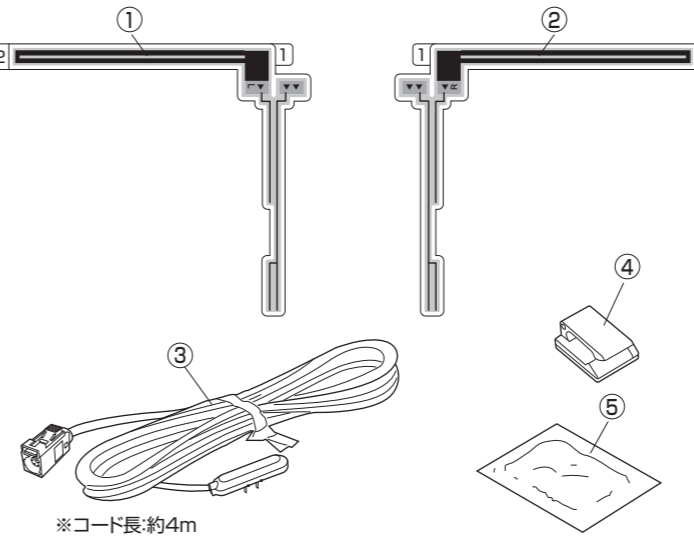
- 天気の良い日中に付ける
雨、霧など湿気が多いときは、両面テープの接着力が低下し、外れて事故や怪我の原因となることがあります。
- コードホルダーの両面テープは、指でさわったり貼り直したりすると、接着力が弱まるので、取扱いは注意してください。
両面テープの接着力が低下し、外れて事故や怪我の原因となることがあります。
- アンテナ貼り付け直後は、アンテナにガラスクリーナーなどを吹きかけたり、アンテナを直接拭いたりしないでください。また、時間経過後にアンテナを直接拭く際は、柔らかい布などを使用して傷が付かないよう注意してください。
- お手入れの際は、アンテナケーブル、フィルムアンテナをひっかかないようにご注意ください。

貼り付ける前に必ずお読みください

- 本製品を設置する際には、記載の【貼り付け位置】を参照の上、必ずその範囲内に設置してください。国土交通省の定める道路運送車両の保安基準に適合する位置に取り付けを行わないと、道路交通法違反で取り締まりにあたり、車検に通らなくなります。又、前方視界の妨げになる場所や運転操作の妨げになる場所、エアバッグなどの安全装置の作動に影響のある場所や同乗者に危険を及ぼすような場所へは取り付けしないでください。事故や怪我の原因となるおそれがあります。
- 運転者の視界の妨げ及び運転操作の妨げになる場所への取り付けは事故の原因となるおそれがありますので、お避けください。
- 配線したアンテナケーブルは運転操作の妨げにならないように束ねてください。ブレーキペダルやハンドルに絡まったりすると重大な事故の原因となりますので、ご注意ください。
- このアンテナはフロントウィンドウ貼り付け専用です。フロントウィンドウ以外の場所には、貼り付けしないでください。
- 貼り付け・配線の為に、車両の内装(ビラーカバーなど)を一時的に取り外す必要がありますので、ご了承ください。
- フィルムアンテナ、アンプ、ケーブルをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等の揮発性のもので拭かないでください。
- フィルムアンテナを折り曲げたり、キズを付けたりしないでください。断線等により電波の受信が悪くなる場合があります。
- 車種や使用条件によって、取り付けられない場合や基本性能が発揮できない場合があります。熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合には、受信感度が極端に低下します。お車を購入した販売店に確認をしてください。
- ・ミラーフィルム、蒸着フィルムなどの電波不透過フィルムを施行したガラスの場合には、受信感度が極端に低下します。施工した販売店に確認をしてください。
- ・エアバッグをビラーに搭載しているお車には、取り付けが困難な場合があります。お車の販売店もしくは本製品をご購入頂いたお店にご相談ください。

セット内容一覧

- ①フィルムアンテナ (L)1台
- ②フィルムアンテナ (R)1台
- ③アンテナケーブル.....2本
- ④コードフック.....6個
- ⑤クリーナー.....1枚

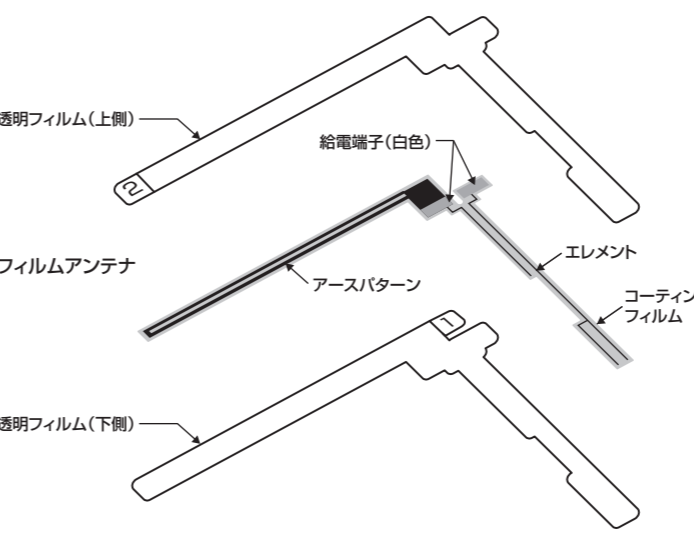


取り付けの前に準備してください

- 布・フェルト等の柔らかい生地の付いたスキーブーツ(ヘラ) ●ウェス(柔らかい生地)
- クリーナー(同梱)

フィルムアンテナの構成

- イラストは、フィルムアンテナ(L)です。フィルムアンテナ(R)の形状は左右対称です。(タグ表示がLからRに変わります。)
- フィルムアンテナは、透明フィルムとセパレーターの間に挟まれています。
- エレメントの銀色部が給電端子です。
- フィルムアンテナを折り曲げたり、キズを付けたりしないでください。断線等により電波の受信が悪くなる場合があります。
- フィルムアンテナの接着面どうしを貼り合わせないでください。接着面どうしが付いてしまうとはがれにくく、接着面のノリがはがれて貼り付かなくなります。
- セパレーターをはがした後は、貼り付け面に手を触れないでください。



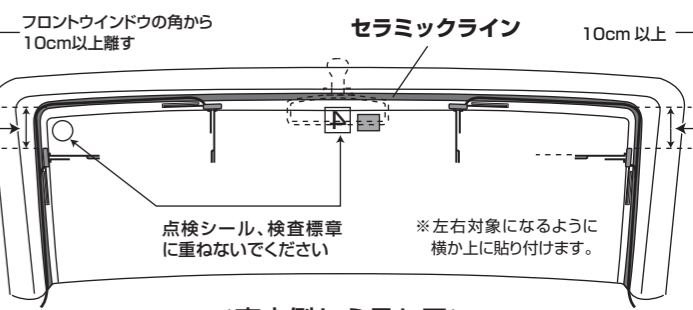
取り付けの際の注意点

- アンテナエレメントの貼り直しはできません。左右の貼り間違いや貼り付け位置の間違いなどが無いようご注意ください。
- アンテナを貼る前に必ずコードおよびアンテナを仮止めし、コードの引き回しなどを十分に検討してから貼り付けてください。
- 必ずフロントウィンドウの指定の位置・寸法内に正しく貼り付けてください。
- サイドガラスやリアガラスには、貼らないでください。十分な受信状態が得られません。
- フロントウィンドウ(内側)の汚れ(ゴミ、ホコリ、油など)や、曇り止めや水分等を付属のガラス用クリーナー等でキレイに拭き取ってください。また、市販の界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。
- フィルムアンテナやハクリ紙などを剥がした面には、手で触れないでください。また、長期間の放置はしないでください。汗や汚れ、静電気による故障や接触不良の原因になります。
- 本製品の貼り付け、配線等を行うには専門技術が必要になる場合があります。安全の為、お買い求め頂いた販売店、お車のディーラー、フロンジョブに依頼、ご相談される事をお勧めします。ご自身で設置を行う場合には、安全に十分な注意を払い、自己責任において作業を行ってください。

貼り付け位置の確認

貼り付ける位置について

- 国土交通省の定める保安基準に適合させる為、アンプ部は必ず図のように貼り付けてください。
※保安基準とは、道路運送車両の保安基準第29条第4項第7号に対する、平成11年12月27日付けの運輸省(当時)告示第820号をいいます。
- フロントウィンドウに、すでにフィルムタイプのアンテナを取り付けている場合には、お買い上げの販売店にご相談ください。
(指定の位置・寸法内に貼り付けられない場合があります。)
- 十分な性能を発揮する為に、上部に縦貼りする場合はアンプ部はできるだけ上部に、またビラー側から横貼りにする場合は、できるだけビラー寄り貼り付けてください。
- 左ハンドル車に貼り付ける場合も、右ハンドル車と同様に貼り付けてください。(左右逆に貼り付けないでください。)
- アンテナは、フロントウィンドウの車内側に貼り付けてください。それ以外の場所には貼り付けないでください。
- アンテナは、車検証・点検シールなどと重ならないように貼り付けてください。
- アンテナは、ETC受光部、他のTVアンテナなどから20mm以上離して貼り付けてください。
- フィルムアンテナの給電端子部およびアンプ部は、セラミックライン内に貼り付けないでください。ショートなど、故障の原因となります。
- フィルムアンテナを折り曲げたり、キズを付けたりしないでください。断線等により電波の受信が悪くなる場合があります。
- フィルムアンテナの接着面どうしを貼り合わせないでください。接着面どうしが付いてしまうとはがれにくく、接着面のノリがはがれて貼り付かなくなります。
- セパレーターをはがした後は、貼り付け面に手を触れないでください。



<車内側から見た図>

注意 ミラー調ガラスフィルムを貼り付けているウィンドウへ取り付けられた場合は、アンテナの受信性能が極端に低下します。

フィルムアンテナの設置

ガラス面の汚れ等を拭き取る

- 貼り付ける場所のゴミ、ホコリ等を付属のクリーナーもしくは、薄めた中性洗剤を塗布した布等でお車の装着位置の汚れをよく拭き落としてください。
- ・貼付面が完全に乾いていない状態では貼り付かない恐れがあります。フィルムアンテナ・アンプケースを貼り付けるガラス面は十分に乾いた状態にしてから作業を行ってください。
- ・フィルムアンテナ・アンプケースを貼り付ける面が油分等で汚れていると貼り付きません。また、冬場など気温の低いときは、デフロスター・ドライヤー等でガラス面を暖めてから作業を開始してください。またフィルムアンテナ・アンプケース自体も暖めてください。

車内の内張り(ビラー、ルーライニングなど)を取り外す

- ケーブルを引き回す際の、仮位置を決めてください。
- ※必ず内張り等を外さなければならぬ訳ではありません。配線方法やお車の形状等に応じてご判断ください。



注意 ケーブルの配線時にビラーカバーやルーライニング内張りを外して配線を行う場合には、その取り外しや再取り付けができることもご確認ください。できない場合は、販売店にご相談ください。

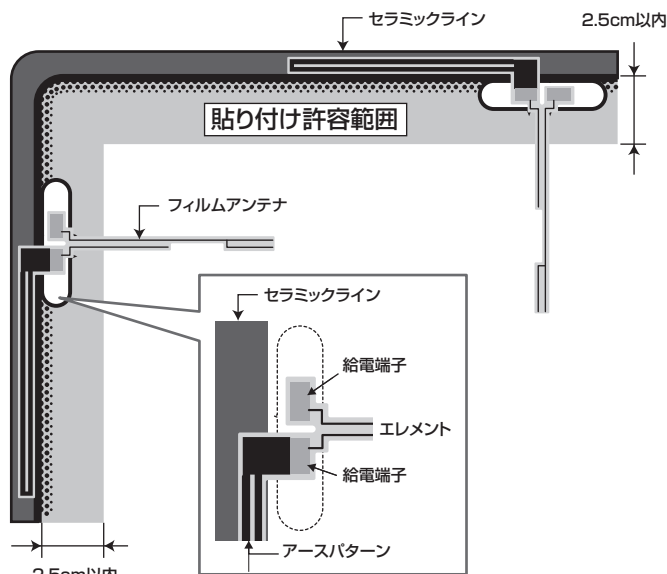
貼り付け方法

フィルムアンテナの貼り付け位置を決める

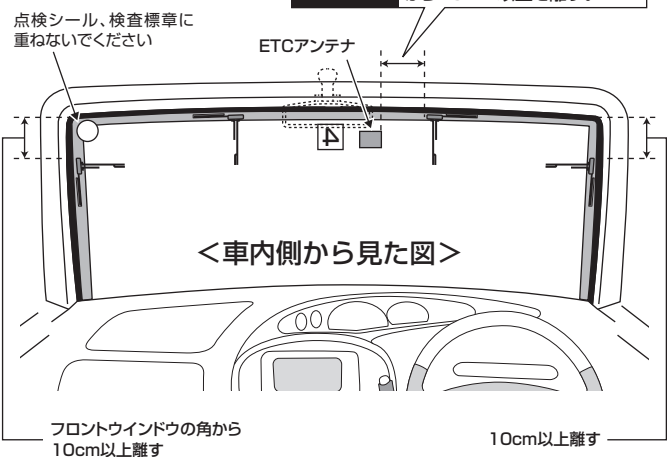
- フィルムアンテナ貼り付け位置、アンブケースの貼付位置は、下図の「貼付許容範囲」を参照して取り付け位置を決めてください。
- フィルムアンテナの貼り付けの際、車内の内張り(ピラー、ルーフィニングなど)にアンブケースが当たらないように貼り付け位置を決めてください。
- ケーブルを引き回して機器まで配線可能なことを確認してください。

取り付け許容範囲

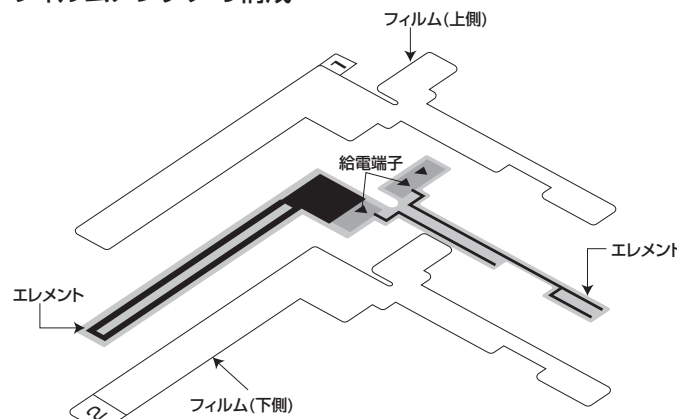
- フィルムアンテナの給電端子部およびアンブケースは、セラミックライン上または、内張りに重ならないように必ず貼付許容範囲内(■部)に貼り付けてください。
- アースパターンは、セラミックライン上に貼り付けても問題ありません。
- 貼付許容範囲をはみ出して貼り付けた場合、車検不適合と判断されたり、整備不良の対象となります。



注意 ETCアンテナ・他のアンテナ等から20mm以上を離す。

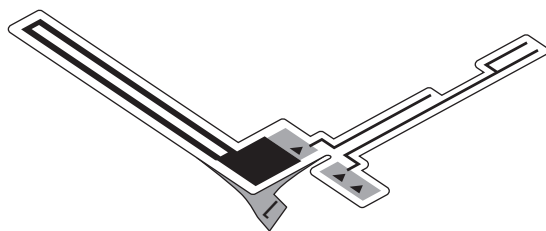


フィルムアンテナの構成



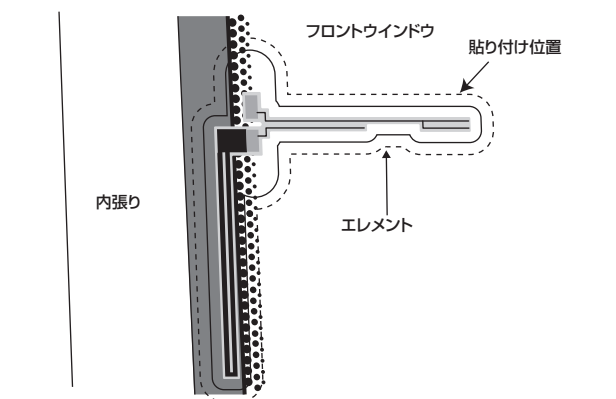
フィルム(上側)とフィルム(下側)の間にエレメントが挟まれています。(エレメントの広い部分が給電端子部分です。)

- フィルムアンテナの位置を決めてからセパレーター①をはがしてフロントウィンドウに密着します。



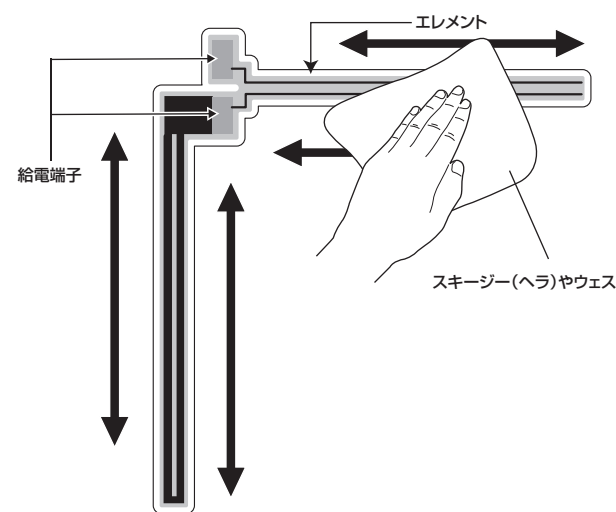
フィルムをフロントウィンドウに貼り付ける

- フロントウィンドウ面の貼り付け位置に、給電端子側から貼り付けてください。その際エレメント部分に空気が入ったり、シワが寄らないようにゆっくりと貼り付けてください。
- ※貼り付けた後、すぐにフィルムをはがさずスキー(ヘラ)やウェス等の柔らかい布で図のように圧着し、しっかり貼り付けてください。左右・上下に圧着してください。



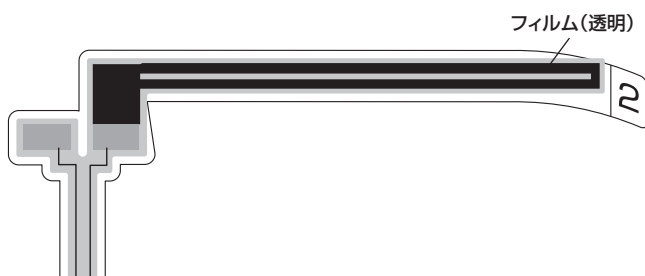
注意

- 一度、貼り付けてしまうと貼り直しができません。曲がったり、たわんだりしないように慎重に作業を行ってください。



フィルムをはがす

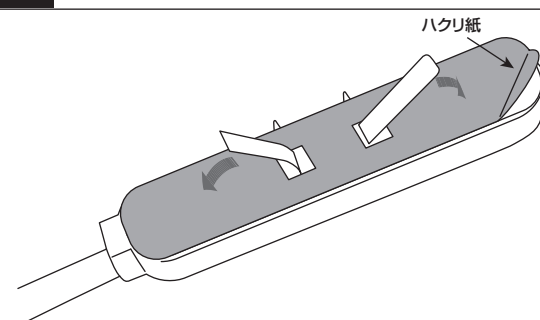
- しっかり貼り付けができましたらセパレーター②をゆっくりとはがしてください。
- エレメントのはがれが生じないように、慎重にゆっくりとはがしてください。もし、エレメントがはがれかけましたら、フィルム(透明)の上から再度圧着して貼り付けてください。



アンブケース裏面のはくり紙をはがしてください。

注意

- アンブケースの貼り直しは、粘着力が弱くなる他、アンテナ自体が破損するおそれがあるためお止めください。
- 貼り付ける前にアンブケースの向きに注意してください。下図のイラストを確認してから貼り付けてください。

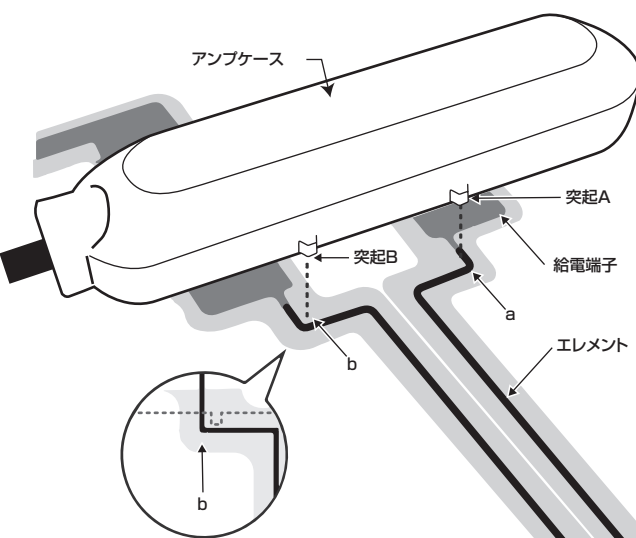


給電端子部にアンブケースを貼り付けてください。

- アンブケースにある突起 A・B とエレメントの a・b が重なるよう平行にアンブケースを貼り付けます。

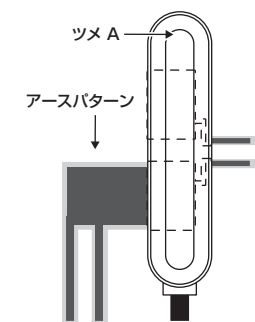
注意

- 浮きがないように強く押しつけてください。また、フロントガラス外側からガラス面に密着されていることを確認してください。

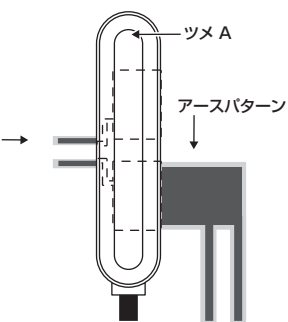


アンブケースを給電端子部に貼り付ける

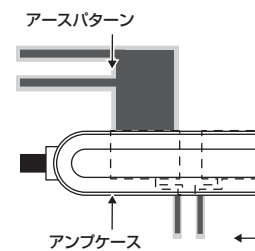
■左側(フロントピラー)取り付け



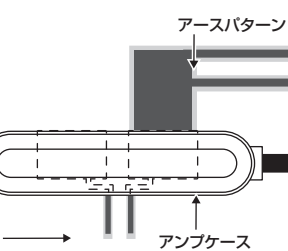
■右側(フロントピラー)取り付け



■左側(ルーフ)取り付け

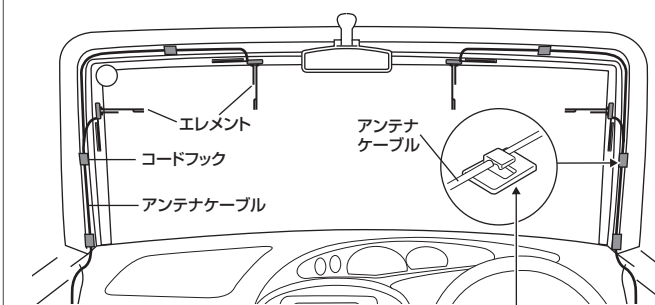


■右側(ルーフ)取り付け



アンテナケーブルの配線

- コードフックでアンテナケーブルを固定しながら運転操作の妨げにならないように配線してください。
- ※車種によっては、スペースがなくてコードフックが使用できない場合があります。



- ※安全な視界が確保できるようにアンテナケーブルを配線してください。
- コードフック裏面のハクリ紙をはがして貼り付けてください。

警告

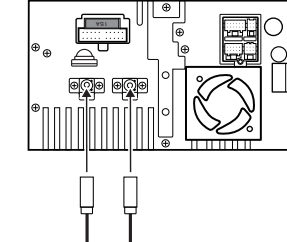
- フロントピラーにエアバックが装着された車両には、エアバック動作の妨げとならない位置へ配線を行ってください。
- 運転の視野を妨げないように、ケーブルを配線してください。
- ケーブル類は、運転操作の妨げとならないよう、テープなどでまとめてください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。
- アンテナケーブルをピラー内などに押し込む場合は、樹脂ヘラなどを使用してください。(先端部分が鋭利な工具などを用いて強い力で無理に押し込むとアンテナケーブルが破損(断線)する可能性があります。)

アンテナ端子を接続する

- 接続する機器の説明書も併せてご覧いただき、正しい位置に接続してください。TVアンテナ入力端子はロック付です。端子を機器から外す際は、ロック部を押しながら外してください。

注意

- アンテナ貼付直後は、アンテナにガラスクリーナーなどを吹きかけたり、アンテナを直接拭いたりしないでください。また、時間経過後にアンテナを直接拭く際は、柔らかい布などを使用し傷が付かないよう注意してください。
- お手入れの際は、アンテナケーブル、フィルムアンテナをひっかかないようご注意ください。



その他

- 本製品のアンテナケーブルの取り付け配線は、別々に配線してください。他のAV機器等も含め、映像が悪くなりますので、コードと一緒に束ねないでください。また、アンテナケーブルが長く余り、束ねる場合、別々に大きく(長く)束ねるようにしてください。絶対に結ばないでください。
- 貼り付け・配線が終わりましたら、ピラー・ルーフィニング等を再度取り付けてください。



【取り付け説明書2】
本機取り付け説明
PMA110FZ
 10V型マルチメディアオーディオ

このたびはPIXYDA商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- 取り付けおよび結線を行う前に、この取付説明書をよくお読みのうえ、安全に正しく作業してください。
- 本説明書は、取扱説明書とともに大切に保管してください。

■お客様へのお願い
 本機取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店での取り付けをおすすめします。

■販売店様へのお願い
 取り付け完了後、この「取付説明書」をお客様にお渡しください。

お客様サポートセンター ☎0570(039)710 受付時間/AM10:00~PM5:30 (土曜・日曜・祝日除く) 〒399-4603 長野県上伊那郡三日町655	ご購入年月日 年 月 日
ご購入店名 TEL	メモ

株式会社 **セイワ**
 〒134-0092
 東京都江戸川区一之江町3000番地
<http://www.seiwa-c.co.jp>

安全上のご注意 必ずお守りください

本取り付け説明書では、運転者や周囲の人々への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、以下のように区分けして説明しています。必ず本文をよくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分けし説明しています。

警告	「死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示します。
注意	「傷害や物的損害のみの発生が想定される内容」を示します。

■ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で示しています。

注意	「注意を促す内容」を示します。
禁止	「してはいけない内容」を示します。
実行	「しなければならない内容」を示します。

■取り付けの前に

警告

- 雨が吹き込むところなど、水のかかることや湿気、ほこりの多いところへは取り付けない。
 本機に水や湿気、ほこりが混入すると発煙や発火の原因となることがあります。
- 振動の多いところや傾きのある不安定な場所には、取り付けない。
 本機が外れて、事故やケガの原因となることがあります。
- 直射日光や本機の通風穴や放熱部をふさぐところには取り付けない。
 本機に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- 視界や運転を妨げる場所、同乗者に危険をおよぼす場所には取り付けない
 ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダル付近などへの取り付けは、交通事故やケガの原因となります。
- 運転の妨げになる場所や前方の視界を妨げる場所、エアバッグの動作の妨げになる場所に設置や配線をしない。
 運転に支障が生じ、交通事故を招くおそれがあります。またエアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグでお客様が利用される機器などを破損したり動作したエアバッグで本機や部品が飛ばされ死亡事故・ケガの原因となります。

警告

- DC12V⇔アース車専用です。
 DC24V車(大型トラックや、寒冷地仕様のディーゼル車など)には使用できません。火災や故障の原因となります。
- 配線作業前に、バッテリーの端子を外す。
 外さずに作業をすると、ショートによる感電やけがの原因となります。
- 本機の電源端子をバッテリーに直接接続する場合は、指定容量以上の電源コードを使用する。
 指定容量に満たないコードを使用すると、電流容量をオーバーし、火災や感電の原因となることがあります。
- ヒューズは規定容量品を使用し、交換は専門技術者に依頼する。
 規定容量以上のヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

■取り付けのときの注意事項

警告

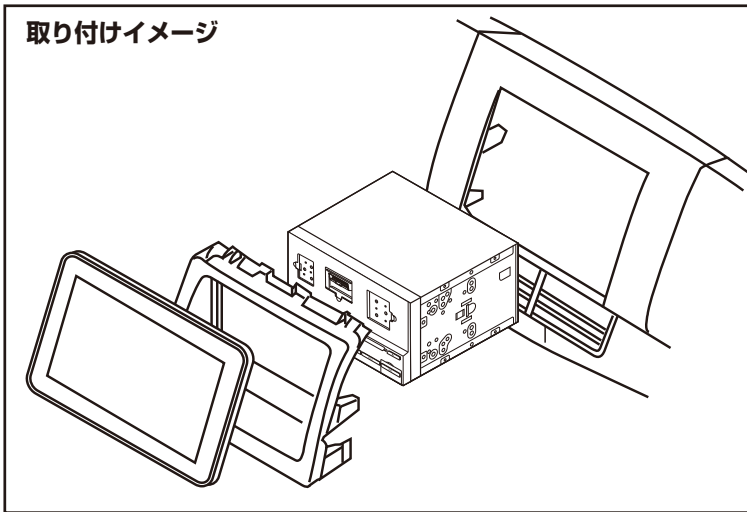
- 分解や改造はしない。
 内部には電圧の高い部分があり、事故・火災・感電・故障の原因となります。また、コードの被服を切つて他の機器の電源をとることも絶対におやめください。
- 車両メーカーが指定する禁止エリアへの取り付けや配線をしない。
 車両メーカー・ディーラーに注意事項を確認してから作業を行なってください。
- 同乗者に危険をおよぼす場所には、絶対に取り付けない。
 同乗者に危険をおよぼす場所への取り付けは、交通事故やけがの原因になります。
- 取り付けの際は車両の保安部分のボルトやナットを絶対に使用しない。
 ステアリングやブレーキなど、保安部分のボルトやナットを使用して本機やコード等を取り付けると事故の原因となります。
- 取り付けやアース配線に、車の保安部品を絶対に使わない。
 ステアリング、シートレール、ブレーキ系統、タンクなどのボルトやナットにアース配線を繋げると、制御不能や発火、交通事故の原因となります。
 エアバッグ装着車に接続コード類の配線をする場合は、システムの作動に影響する位置に配線しないでください。エアバッグが正常に作動しないと、万一のとき、事故やケガの原因となります。
- 車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などに干渉や接触をさせない。
 パイプ類などの破損により、火災や事故の原因となります。

注意

- コード類は、高熱部を避けて引き回す。
 コード類の被覆が溶けてショートし、事故や火災の原因となります。特にエンジンルーム内の配線には注意してください。
- パーキングブレーキコードを正しく配線する。
 安全機能が働かず、交通事故の原因となります。
- コード類は、運転操作の妨げとならないように引き回す。
 ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。

注意

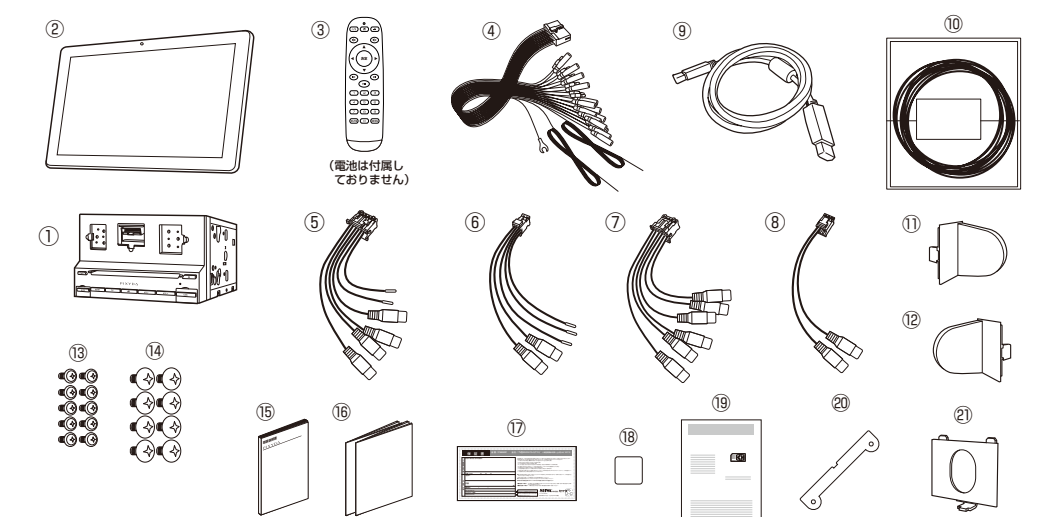
- 小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない。
 ねじ・カードなどの小物部品を誤って、飲み込むおそれがあります。
 万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。
- 取り付け(取り外し)や配線は、専門技術者に依頼する。
 火災や事故の原因となります。お買い求めの販売店に依頼してください。
- 取り付け説明書にしたがって、取り付けや配線をする。
 誤った取り付けや配線をする、事故や火災の原因となることがあります。
- 必ず、付属品や指定の部品を使用する。
 指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定されず外れたりして、事故や故障などの原因となることがあります。
- 落下させる、たたくなど強い衝撃を与えない。
 故障や火災の原因となります。
- コード類は、結線終了後クランプや絶縁テープで確実に固定する。
 コード類が車体部分との接触により、すりきれてショートし、事故や火災の原因となることがあります。
- コード類は、車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にはさみ込まないように引き回す。
 断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。
- 車体に穴を開けてコード類を配線するときは、絶縁性のグロメットを使用する。
 開口部とコード類との接触により、すりきれてショートし、事故や火災の原因となることがあります。
- 取り付け・配線作業後は、必ず車の電装品の動作確認をする。
 作業後にブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウインカーなど正常に動作しないと、火災や感電、交通事故の原因となります。
- 車体のネジを使用して取り付けを行うときは、ネジがゆるまないように確実に締め付ける。
 ネジがゆるみ、事故や故障などの原因となることがあります。



製品構成

本機の製品構成は下記のとおりです。万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申しつけください。

- ① 本機 1台
- ② モニター 1台
- ③ リモコン 1台
- ④ 電源ケーブル 1本
- ⑤ ラインケーブル(12PIN) 1本
- ⑥ ラインケーブル(4PIN) 1本
- ⑦ ラインケーブル(10PIN) 1本
- ⑧ ラインケーブル(6PIN) 1本
- ⑨ HDMIケーブル 1本
- ⑩ 地上アンテナ左右セット 1セット
- ⑪ サイドカバー (L) 1個
- ⑫ サイドカバー (R) 1個
- ⑬ 取り付けネジ (小) 10本
- ⑭ 取り付けネジ (大) 8本
- ⑮ 取扱説明書 1冊
- ⑯ 取り付け説明書 (本書) 2枚
- ⑰ 保証書 1枚
- ⑱ mini B-CAS封印シール 2枚
- ⑲ mini B-CASカード 1枚
- ⑳ ロックパーツ 1枚
- ㉑ コネクターカバー 1枚



- 付属品の使用および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- この取扱説明書のイラストや画面はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

取り付け方法

■取り付け上の注意

- ①本機は、水平面から30°以内に取り付けてください。
- ②本機は、内部の温度調節のために背面にファンモーターを設置しています。ファンモーターの排出口を、コードやブラケットなどで塞いでしまうと、故障の原因となりますので、十分注意してください。

ファンモーター排出口
- ③モニターパネルは強く押し付けしないでください。パネル故障の原因となります。
- ④車両への取り付けは、一部車種を除き、車両の取り付け金具を使用して取り付け出来ます。
- ⑤車種や年式によっては、専用の取り付けキットを使用しないと取り付け出来ない場合があるので販売店にご相談ください。
- ⑥モニター角度は下記の「モニターの取り付け方法」以外の取り付けはしないでください。故障の原因となります。
- ⑦モニター正面に保護シートが貼ってあります。作業後、セロハンテープ等を貼り付けて剥がしてください。

セロハンテープ

■取り付け穴に関して

警告

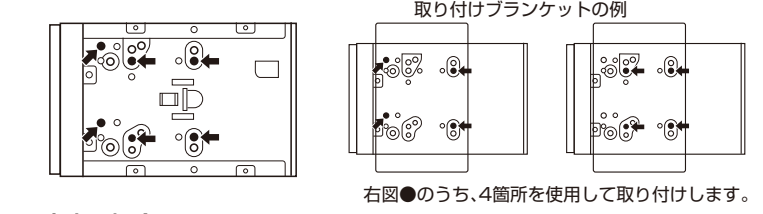
取り付けブラケットのネジ形状に合せて必ず付属のネジをご使用ください。指定以外のネジを使用すると、事故、故障、破損の原因となります。

MAX 6mm

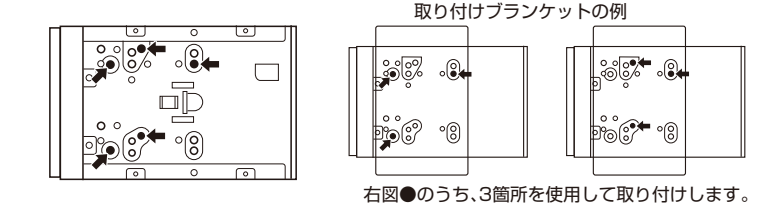
破損

各メーカー対応の取り付け穴の例として、下図をご確認ください。

トヨタ/ダイハツ/スズキ/スバルの場合



日産車の場合



モニターの取り付け方法 (注意: モニターの接続コネクターを本機と接続する際は、必ず電源を落としてから接続してください。)

- コネクタカバーをモニター背面の接続コネクターに通してください。

接続コネクター
コネクターカバー
- モニターを縦向きにして、接続コネクターを本機に接続します。
- 取り付けネジ(小)を左右3ヶ所ずつしっかり締め付けて固定します。
- 付属のサイドカバーを左右に下図の順番ではめ込んでください。


サイドカバー
- モニターを横向きにして、本機背面のネジを外してください。

ネジ
- ロックパーツを本機背面の差込部に取り付けてください。

差込部
ロックパーツ

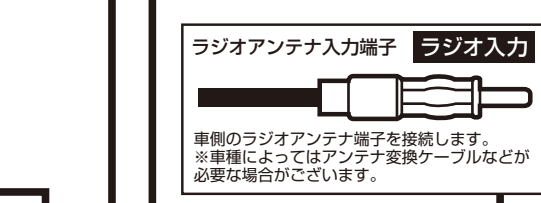
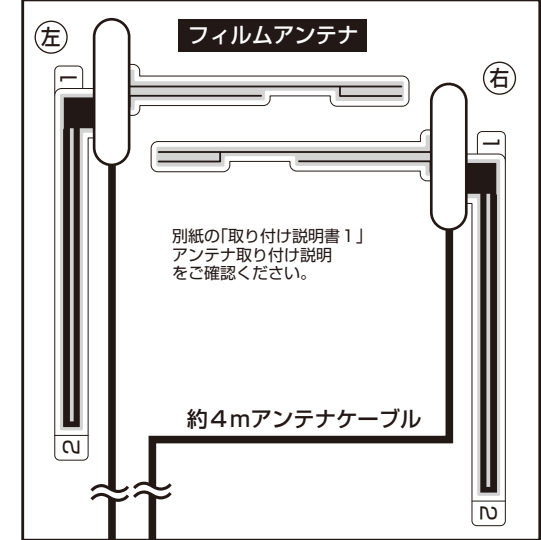
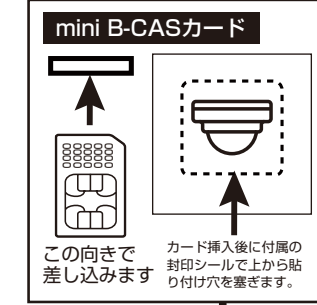
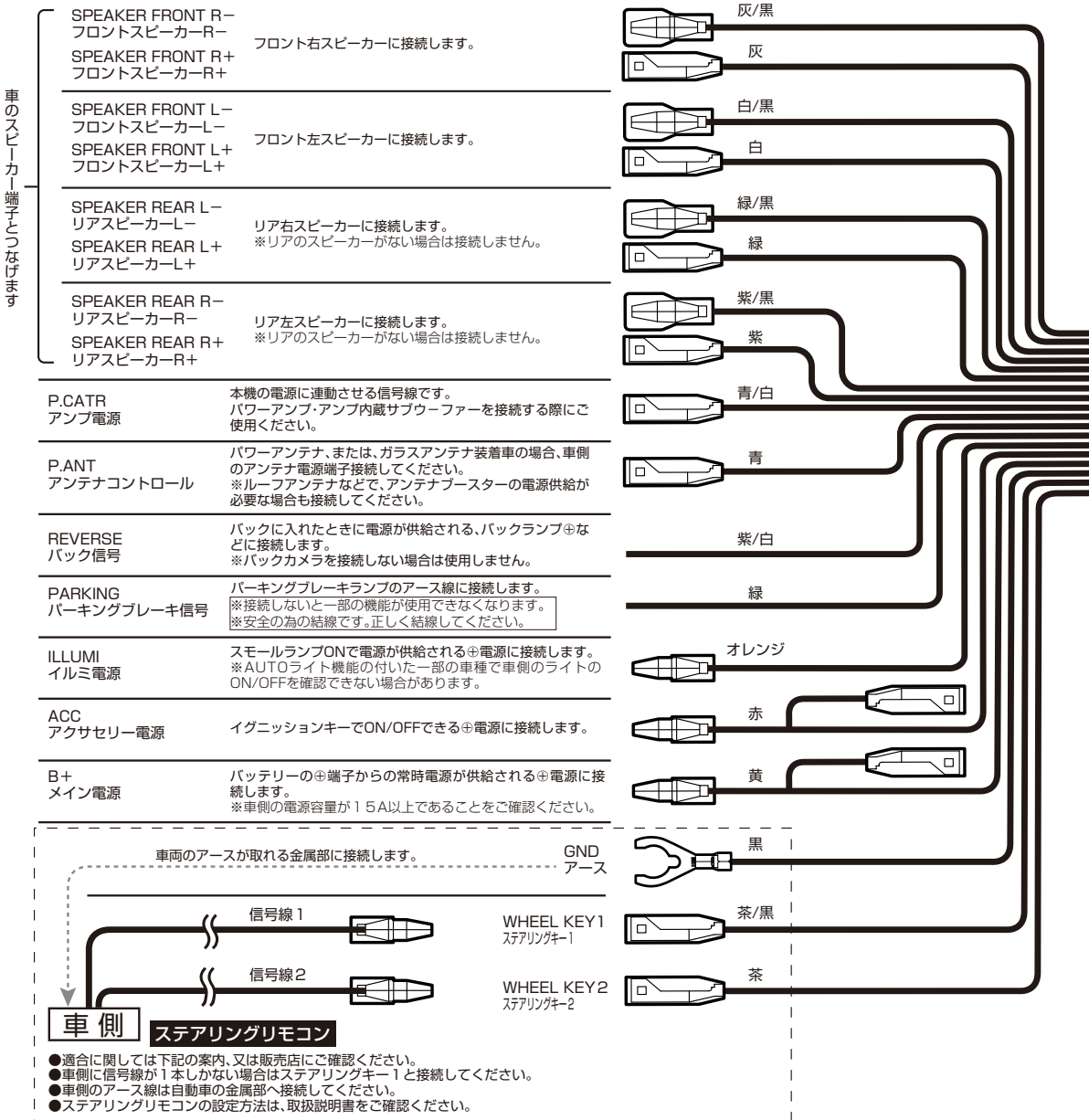
接続のしかた

警告




●配線作業中はバッテリーの⊖端子を外してください。
 ※ショート事故による感電や怪我の原因となります。また、ショート事故により機器内部の故障の原因となります。
 ●メイン電源コードの接続は、車両側の電源端子に1.5A以上の電源容量があることをご確認ください。1.5A未満だった場合は、1.5A以上の容量を持つ電源コードを使用して、バッテリーに直接接続してください。
 ※バッテリーと直に接続する場合は、容量2.0A以上で耐熱性を有する自動車用電源コードをご使用ください。

電源ケーブル

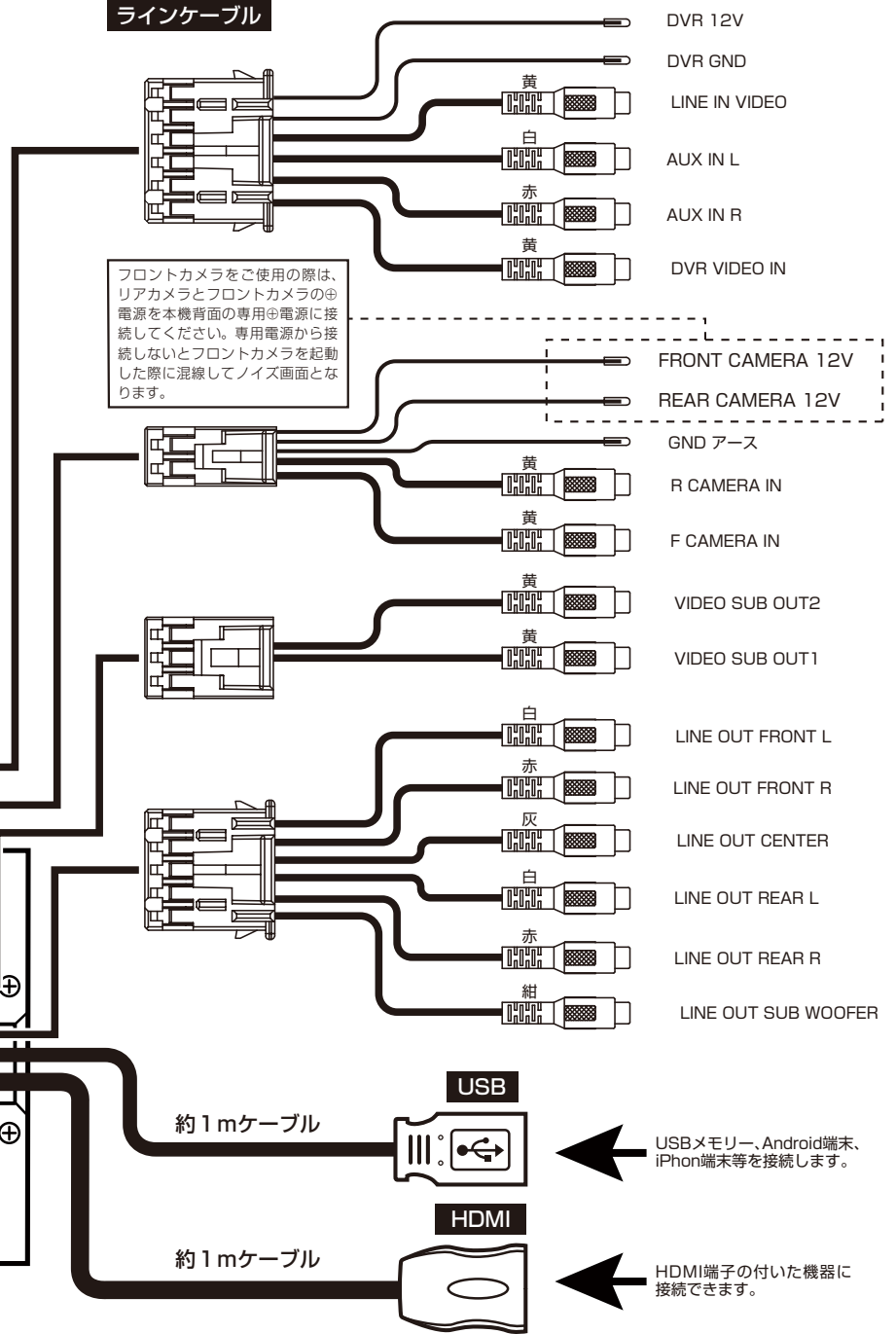


ヒューズ

ヒューズが切れた場合は下記の確認を行ってください。
 ※メイン電源(黄色)のコードと接続している車側の電源コードを抜きます。
 ※結線に問題がないか確認をしてください。
 ※問題がなければ、同じ容量のヒューズ(1.5A)と交換してください。



ヒューズ1.5A



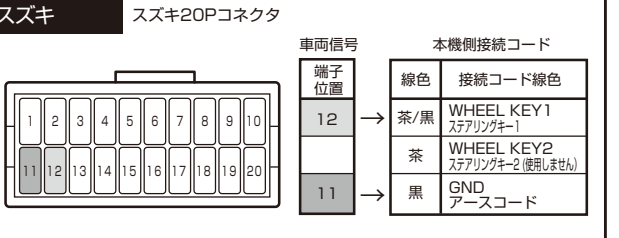
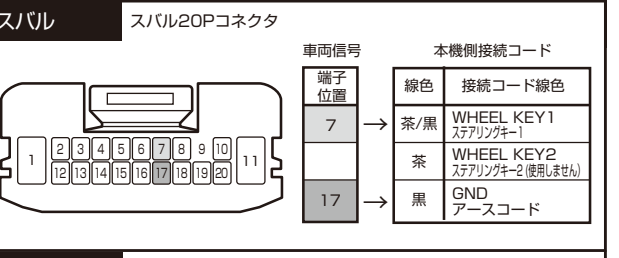
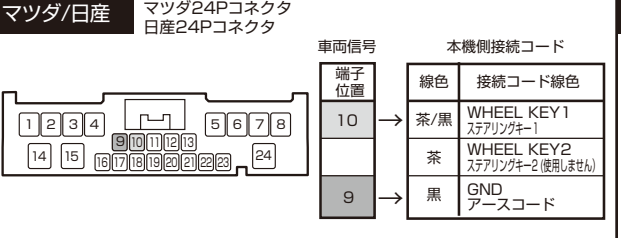
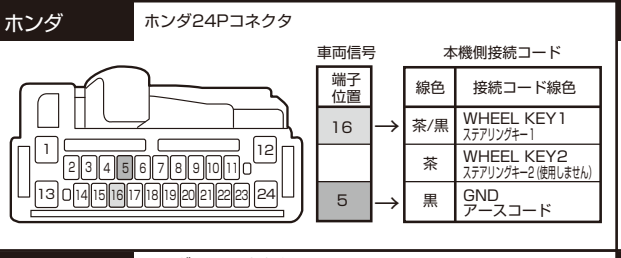
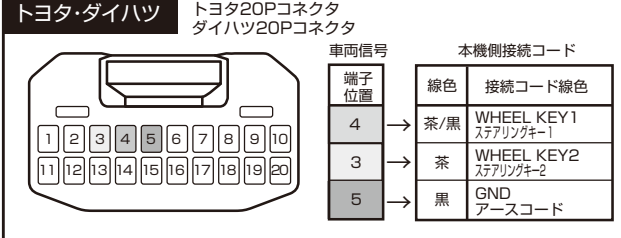
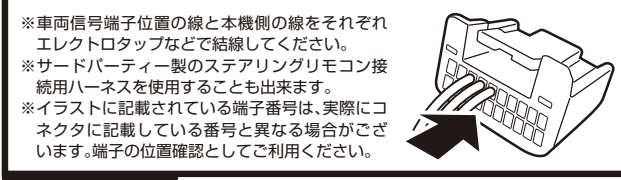
ステアリングリモコンの接続対応表

■接続対応表についての注意事項

- 純正ステアリングリモコン装着車に限ります。
- メーカーオプションナビ装着車の場合は使用できません。詳しくはカーディーラーにご確認ください。
- 適合車種であっても、仕様やグレード、車両の登録年月によっては正常に動作しない場合がございます。
- 取り付けの際は、純正の変換コードやサードパーティー製のハーネス等が必要な場合がございます。
- 設定可能な割当キーは「ボリュームアップ」「ボリュームダウン」「ミュート」「トラックアップ」「トラックダウン」「電話を受ける」「電話を切る」の内容となります。全てのステアリングリモコンキーが使用できるとは限りません。
- ※「トラックアップ」「トラックダウン」はCDの曲送りや曲戻しやラジオのチューニングCHアップ・ダウンなど一部機能になります。
- 実際の配線と記載の配線方法が異なる場合は接続しないでください。無理に接続すると故障の原因となります。
- ※本資料はステアリングリモコン信号と本機を接続するための資料であり、動作を保証しているものではありません。
- ※記載内容が異なる場合、弊社ホームページをご確認いただくか、詳細はカーディーラーへご確認ください。

車体側	本機側	備考
仕様	配線	システム設定
ステアリングリモコン関連の配線が3本出ている。トヨタなど	信号線1: WHEEL KEY1ステアリングキー-1 信号線2: WHEEL KEY1ステアリングキー-2 GND線: GNDアースコード	MODE1で設定してください。 ※MODE1で設定できない場合はMODE2で再度設定してください。
ステアリングリモコン関連の配線が2本出ている。マツダ・スズキ・ホンダなど	信号線: WHEEL KEY1ステアリングキー-1 GND線: GNDアースコード	MODE1で設定してください。 ※MODE1で設定できない場合はMODE2で再度設定してください。

コネクタ端子の配列は車両側のコネクタ(挿入側) 矢印の方向から見ている図となります。



上図のコネクタ配線図はあくまでも代表的な例です。対応車種に関しては弊社ホームページをご確認ください。 <http://www.seiwa-c.co.jp>